

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月30日

協議会名: 東京都離島航路地域協議会

評価対象事業名: 離島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
神新汽船株式会社	神津島～下田航路	事故なく安定した運航が実施できた。	A 荒天による欠航以外は、計画通り運航でき、事業は適切に実施できた。運航回数:計画317.0回⇒実績256.0回(計画比80.8%)	A ・旅客輸送人員:計画人員9,000.0人⇒実績8,855.0人(計画比98.4%) ・自動車輸送台数:計画台数700台⇒実績772台(計画比110.3%) ・建築資材関係の利用者が増え、自動車輸送台数は、計画台数を上回った。	「フェリーあぜりあ」就航10年の節目となるが、引き続き安心して安定した運航の継続と旅客、自動車輸送台数の拡大に努め、航路運営のサービス改善・収支改善を図る。その他、下田航路の活性化を目的とし、各島/下田間に臨時便の運航を計画している。
東海汽船株式会社	東京～八丈島航路	旅客輸送人員は2,438.5人増加となる88,303人(昨年比103%)となった。 主な区間の増減は、東京～三宅島間が2,027.5人増加、東京～御蔵島間が1,587.5人減少、東京～八丈島間が2,387.5人増加した。	A 安全運航に努め、航路事業を適切に実施した。運航回数では計画数366回に対して悪天候等による欠航が12回あり、就航回数は354回(計画比96%)となった。なお、10,4,6,7,9月は欠航数0回であった。	A 旅客輸送人数は88,303人(計画比85%)となったものの、運賃改定により旅客運賃収入は903,212千円(計画比100.9%)となった。一方、貨物輸送量は1,121トン増加の48,217トン(計画比102.3%)となり、貨物運賃収入は545,888千円(計画比116.8%)となった。	運賃改定により旅客が減少しないよう、様々な角度から取り組みを実施している。 通信衛星サービス(スターリンク)の導入による顧客サービス向上や、インターネット経由で、予約されたお客様を対象とした「セルフ券売機」の導入による利便性向上等を通じて、旅客輸送人員の増加につなげる。
伊豆諸島開発株式会社	八丈島～青ヶ島航路	年間を通して、同じダイヤおよび旅客定員により安定的な運航を行った。	B 荒天による欠航の影響を受けたものの、概ね計画通り運航し、事業は適切に実施された。(運航実績130.0回/運航計画238.0回、就航率54.6%)	A 旅客輸送人員は、計画人員2,435.0人に対して実績は2,240.0人(計画比92.0%)となった。	船員の働き方改革による取り組みを遵守した上で安定かつ安全な運航を確保する。八重根漁港を母港とするメリットを活かしながら航路運営収支の改善を図っていく。
伊豆諸島開発株式会社	父島～母島航路	年間を通して、同じダイヤおよび旅客定員により安定的な運航を行った。	A 荒天による欠航の影響を受けたものの、概ね計画通り運航し、事業は適切に実施された。(運航実績267.5回/運航計画283.0回、就航率94.5%)	A 旅客輸送人員は、計画人員22,130.5人に対して実績は22,559.0人(計画比101.9%)となった。	船員の働き方改革による取り組みを遵守した上で安定かつ安全な運航を確保するとともに航路運営収支の改善を図っていく。